

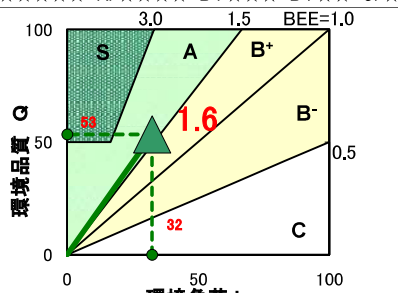
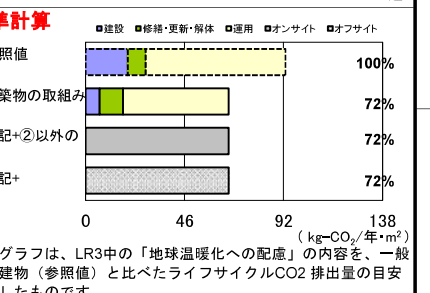
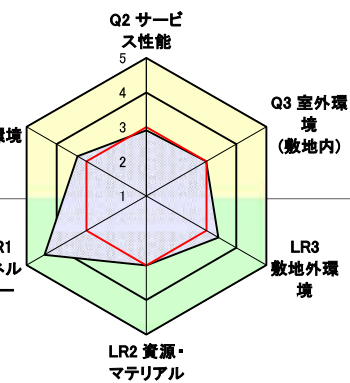
CASBEE®-建築(新築)

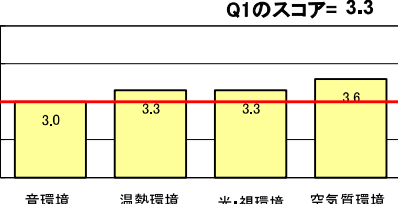
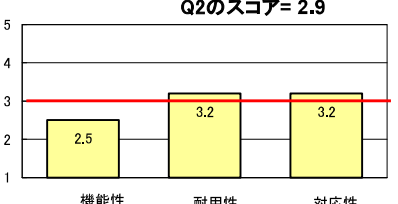
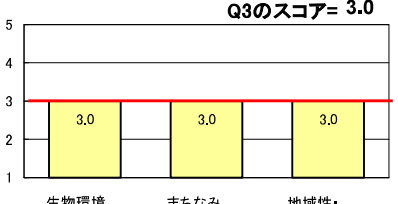
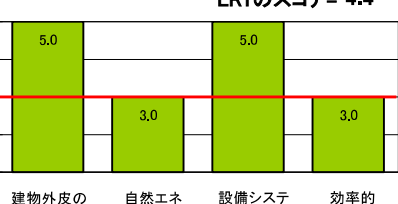
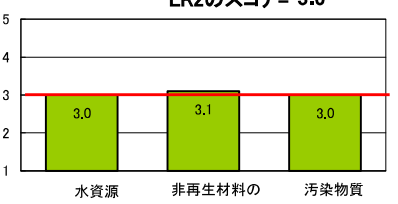
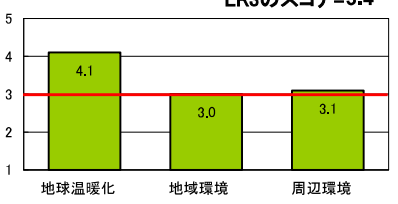
評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要			1-2 外観
建物名称	(仮称)朝霞市三原三丁目計画 新築	階数	地上8F
建設地	埼玉県朝霞市三原三丁目1465番30	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域	平均居住人員	250 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年4月 予定	評価の実施日	2024年11月13日
敷地面積	3,427 m ²	作成者	株式会社コモン・リンカー級建築士事務所
建築面積	1,418 m ²	確認日	2024年11月13日
延床面積	7,582 m ²	確認者	株式会社コモン・リンカー級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 1.6 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★ C: ★ 	 標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO ₂ 排出量の目安で示したものです	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質 Q のスコア = 3.1		
Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.3 	Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.9 	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.0 
LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.7		
LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.4 	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.0 	LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.4 

3 設計上の配慮事項		
総合 CO ₂ 排出率の減少のために努力しています。		その他 屋上緑化、太陽光発電、LED、省エネ設備、複層ガラス
Q1 室内環境 遮音、採光、汚染化学物質について、設計・施工の方法と建材下地の使用を配慮しています。	Q2 サービス性能 躯体、内装、外装、配管について、耐用年数の長い建材を使用しています。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー 建物の低炭素化について、断熱等性能の向上と一次エネルギー消費量の減少を配慮しています。	LR2 資源・マテリアル エコ対策について、仕上材の下地に軽量鉄骨を使用しています。	LR3 敷地外環境 街並みに対して、照明の設置を配慮しています。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)朝霞市三原三丁目計画 新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								3.1	
Q1 室内環境					0.40		-	3.3	
1 音環境				3.0	0.15	3.0	1.00	3.0	
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.50	3.0	0.50		
1.2 遮音				3.0	0.50	3.0	0.50		
1 開口部遮音性能				3.0	1.00	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能				-	-	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	3.0	0.20		
1.3 吸音				-	-	-	-		
2 温熱環境				3.0	0.35	3.3	1.00	3.3	
2.1 室温制御				3.0	0.50	3.7	0.50		
1 室温				3.0	0.63	3.0	0.63		
2 外皮性能		断熱性能等級5。		3.0	0.38	5.0	0.38		
3 ゾーン別制御性				-	-	-	-		
2.2 湿度制御				3.0	0.20	3.0	0.20		
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	0.30		
3 光・視環境				3.3	0.25	3.3	1.00	3.3	
3.1 昼光利用				4.2	0.30	4.0	0.30		
1 昼光率		2%以上。		5.0	0.60	5.0	0.50		
2 方位別開口				-	-	3.0	0.30		
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.20		
3.2 グレア対策				3.0	0.30	3.0	0.30		
1 昼光制御				3.0	1.00	3.0	1.00		
3.3 照度				3.0	0.15	3.0	0.15		
3.4 照明制御				3.0	0.25	3.0	0.25		
4 空気質環境				3.6	0.25	3.6	1.00	3.6	
4.1 発生源対策				4.0	0.60	4.0	0.63		
1 化学汚染物質		全てF☆☆☆☆の建材を使用。		4.0	1.00	4.0	1.00		
4.2 換気				3.0	0.40	3.0	0.38		
1 換気量				3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能				-	-	3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理				-	-	-	-		
1 CO ₂ の監視				-	-	-	-		
2 喫煙の制御				-	-	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	2.9	
1 機能性				2.4	0.40	2.6	1.00	2.5	
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.0	0.60		
1 広さ・収納性				-	-	-	-		
2 高度情報通信設備対応				-	-	3.0	1.00		
3 バリアフリー計画				3.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.0	0.40		
1 広さ感・景観				-	-	3.0	0.50		
2 リフレッシュスペース				-	-	-	-		
3 内装計画				1.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性				3.2	0.30	-	-	3.2	
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				4.2	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数		劣化対策等級3。		5.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		耐用年数30年以上の仕上げ材を使用。		5.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		2種類以上に等級Bを使用、Eは不使用。		5.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				2.6	0.20	-	-		
1 空調・換気設備				1.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20	-	-		
3 電気設備				3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法		耐震クラスA。		4.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備				2.0	0.20	-	-		

3 対応性・更新性		3.0	0.30	3.3	1.00	3.2
3.1 空間のゆとり		-	-	3.6	0.50	
1	階高のゆとり	階高2.9m以上。	-	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		-	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり		-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性		3.0	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性	3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性	3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性	3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保	3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	3.0
1 生物環境の保全と創出		3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	4.4
1 建物外皮の熱負荷抑制		断熱性能等級5。	5.0	0.20	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.71	5.0	0.50	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	3.0
集合住宅以外の評価			-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	
集合住宅の評価			3.0	1.00	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護			3.0	0.20	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.1	0.60	-	3.1
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		仕上げ材の下地に軽量鉄骨を使用。	4.0	0.20	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	
1	消火剤		-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮		CO2排出率:72%	4.1	0.33	-	4.1
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	
2	振動		3.0	0.33	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策チェックリストは一部達成、広告物照明は不使用。	4.0	0.70	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	

CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	(仮称)朝霞市三原三丁目計画	BEE	1.6	BEEランク	★★★★
------	----------------	-----	-----	--------	------

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
4.1	+	3.0	=	7.1	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満		良い 6.0以上		非常によい 6.8以上	
				すばらしい 8.0以上	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	4.1
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	4.1
断熱等性能の向上と一次エネルギー消費量の減少を配慮しています。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	3.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	3.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
緑地スペースを確保しています。			

 : 入力欄